

平成23年度(2011年度)事業計画

財団法人ジェスク音楽文化振興会 (新)定款より

第5条 この法人は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 公益目的事業1 音楽会と講習会を含む総合的な音楽祭を主催する事業
- 公益目的事業2 音楽会を企画制作する事業
- 公益目的事業3 講習会を企画制作する事業
- 公益目的事業4 演奏家を育成し、活動を助成、マネージメントする事業
- 公益目的事業5 世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版する事業

公益目的事業 1 音楽会と講習会を含む総合的な音楽祭を主催する事業

第32回霧島国際音楽祭

- 《概要》 主催： 鹿児島県、財)ジェスク音楽文化振興会、財)鹿児島県文化振興財団
日程： 2011年7月21日(木)～8月7日(日)
会場： 霧島市 みやまコンセール(霧島国際音楽ホール) ほか
- 《事業内容》 講習会(マスタークラス)： 8コース/13クラス
演奏会： 約50公演 (うち有料16公演。ほかアウトリーチ、ワークショップ
吹奏楽クリニック数回、ロビーコンサート・足湯コンサートなど
約35公演を実施予定。)
講師・アーティスト： 約55人 受講生： 約150人

1980年に名誉音楽監督 G. ボッセ氏と、鹿児島市民の手で立ち上げられた音楽祭。当初、任意の民間団体が主催・運営していたが、1984年にジェスク音楽文化振興会が設立され、翌85年から主催に参加。霧島温泉郷(霧島市)で開催される音楽祭は、今日では日本有数の歴史と内容を誇る音楽祭として、アジアを中心に年々受講生・観客も増加するなど注目を集めており、2009年に記念すべき第30回を迎えた。第32回は、第30回を機に打ち出した方向性をさらに推し進め、「世界への発信」、「地元密着」、「フェスティバル性」をキーワードに、さらなる芸術的発展、財政的成功を目指す。

1. 演奏会について

第31回の成功を引き継ぎ、以下のような公演を行う。

① みやまコンセールでの公演：

第30回以降、地元のホストオーケストラ鹿児島交響楽団との協奏曲を中心としたプログラム「オープニング・スペシャル・ガラ・コンサート」は、今年は講師の独奏1名で、過去に音楽祭賞を受賞した若い2人の音楽家が出演。31回よりリニューアルした室内楽コンサートのラ・フォル・ジュルネ版「音楽の散歩」シリーズは45分のコンサート・プロデュースを講師など演奏家に任せる公演のほか、大河ドラマ「篤姫」に続き「江」で音楽を担当する吉俣良による「ファミリーコンサート」や、「管の祭典」、「チェロ・オーケストラ」を実施。また最終日の「ファイナル・コンサート」は、みやまコンセールの公演に初めて下野竜也が出演。このほかに、受講生による「若い音楽家たちのコンサート」、「室内楽クラス・コンサート」などを実施する。

② みやまコンセール以外のプレ・イベント等の公演：

「鹿児島県庁ふれあいコンサート」、「下野竜也・吹奏楽指導者のためのワークショップ in 鹿児島大学」、「霧島神宮かがり火コンサート」「3歳～未就学児のためのコンサート・県交流センター」他

③ 鹿児島市内での公演：

「ザビエル教会コンサート」では鮫島有美子・小川典子、「宝山ホール公演」堤剛・樫本大進、「鹿児島市民文化ホール公演」ピアノ!ピアノ!!ピアノ!!!ではダン・タイ・ソンが出演。

④ 霧島市内での公演（国分隼人地域への重点強化）：

霧島市民会館で長谷川陽子・川島成道「1,000円コンサート」。また市内の学校へ訪問を行う。

⑤ その他の公演：

「アウトリーチ・シリーズ」（湧水町くりの郷、上野原縄文の森）、「チェロ・オーケストラ 薩摩川内公演」、「エアポートコンサート」、下野竜也による「吹奏楽クリニック」ほか

2. 講習会(マスタークラス)について

創設者ゲルハルト・ボッセ教授の理念「自立できる音楽家の養成」を中心に、独奏、室内楽、オーケストラ演奏の体験と技術の習得はもとより、教授・アーティストと受講生が一体となった全人格的カリキュラムを組む。

本音楽祭は室内楽のレッスンが特色。受講生と教授・アーティストがグループを編成しレッスンと演奏会を行い、本音楽祭ならではのカリキュラムを実施する。

●開設マスタークラス

コース	定員	マスタークラス教授
ヴァイオリン (3クラス)	各クラス 10～15名程度	ダニエル・ゲーデ(元ウィーン・フィルコンマス、ニュルンベルク音楽大学教授) 藤原 浜雄 (読売日本交響楽団ソロ・コンサートマスター) 景山 誠治 (東京音楽大学教授 第1回音楽祭受講生)
ヴィオラ	10～15名程度	店村 眞積 (NHK交響楽団ソロ首席)
チェロ (2クラス)	各クラス 10～15名程度	堤 剛 (当音楽祭音楽監督、桐朋学園大学・大学院大学学長) パク・キュンゴク (ハンナン大学校音楽大学主任教授) ～新!
フルート	10～15名程度	エミリー・バイノン (コンサートヘボウ管弦楽団首席)
ピアノ (3クラス)	各クラス 10～15名程度	ダン・タイ・ソン(ショパンコンクール1位) 練木 繁夫 (インディアナ大学教授) 若林 顕(エリザベート王妃国際コンクール第2位、桐朋学園大学院大学教授)
トランペット	10～15名程度	高橋 敦 (東京都交響楽団首席、洗足学園大学准教授)
ホルン	10～15名程度	西條 貴人 (東京都交響楽団首席、東京芸術大学講師)
室内楽	個人応募 および 団体応募	松原 勝也 (東京芸術大学准教授) 田中 雅弘 (東京都交響楽団首席、第1回音楽祭受講生) ほか参加講師・アーティストがレッスンに参加

特 別 レ ッ ス ン	松原勝也、田中雅弘	室内楽	希望者
	小森谷 巧	オーケストラ・スタディ	希望者 (ヴァイオリン)
	エミリー・バイノン	オーケストラ・スタディ	希望者 (フルート)
	高橋 敦	オーケストラ・スタディ	希望者 (トランペット)
	西條 貴人	オーケストラ・スタディ	希望者 (ホルン)

公益目的事業 2 音楽会を企画制作する事業

霧島市民音楽祭

《概要》 主催：霧島市民音楽祭実行委員会、霧島市教育委員会
 企画協力：ジェスク音楽文化振興会
 日程：2011年7月18日(月・祝)
 会場：みやまコンセール

《事業内容》 演奏会

霧島国際音楽祭の開催地である霧島市が中心となり、2008年より開催。市民が霧島国際音楽祭を身近に感じ、広く親しまれる音楽祭になることを目指す。また音楽を通じた交流と、市民の音楽文化の向上を図ることも目的とする。霧島市内学校の吹奏楽や合唱、市内一般演奏団体が出演し、霧島国際音楽祭のアーティストと共演。来る音楽祭に向けてのPRをする。

みやまふれあいコンサート

《概要》 主催：財団法人鹿児島県文化振興財団、各開催地主催者
企画協力：ジェスク音楽文化振興会
日程会場：2011年7月20日（水）出水市音楽ホール
7月21日（木）肝付町文化センター
7月22日（金）枕崎市民会館

《事業内容》 演奏会

霧島国際音楽ホール（みやまコンセール）が、鹿児島県内各地の主催者と共催し、各地の音楽普及に貢献するために実施している事業。例年、霧島国際音楽祭の出演者が演奏会を行うほか、学校や施設での普及活動も行う。藤原浜雄、下野竜也、長谷川陽子、川島成道各氏が参加予定。

第10回みやざきザハール・ブロン音楽祭

《概要》 主催：財団法人宮崎文化振興協会
みやざきザハール・ブロン音楽祭実行委員会
企画協力：ジェスク音楽文化振興会
日程：2011年12月（日程調整中）
会場：宮崎市民プラザほか

《事業内容》 演奏会など

宮崎出身の作曲家 故寺原伸夫氏と親交のあったヴァイオリン教授のザハール・ブロンが宮崎で行なってきた公演を発展させ、2002年より「みやざきザハール・ブロン音楽祭」として開催。ブロンによる演奏会、小中学生への普及企画、公開レッスンなどから構成される。今回は第10回記念として特別な企画を検討中。演奏会にはブロンの門下生（川久保賜紀、木嶋真優、滝千春）も出演予定。

第6回 仙台クラシック・フェスティバル（せんくら）2011

《概要》	主催： 仙台市、仙台放送、仙台市文化事業団
	企画制作： ジェスク音楽文化振興会
	日程： 2011年9月30日(金)～10月2日(日)
	会場： 仙台市青年文化センター、イズミティ21 ほか
《事業内容》	演奏会

仙台クラシックフェスティバル（せんくら）は仙台市の新しい取組みとして2006年より始まり、昨年2009年からは実行委員会を主体とした運営に変わる。そこで、仙台市文化事業団より当財団への依頼があり、第4回から企画・制作として当財団が関わることとなった。主催の中心は仙台放送（フジテレビ系）。仙台市は委託金を支払い共催している。

朝から晩まで4施設10会場で同時併行的に45分間（2会場のみ60分）のコンサートが3日間で約90公演繰り上げられる。演奏者は地元仙台フィルのほか、旬の若手やビッグネームがずらりと並び、入場料が1コマ¥1000～2000円の低料金で気軽にクラシックの名曲を楽しむというコンセプト。第5回は、のべ3万3千人の来場者で終了した。

第6回の出演予定は鮫島有美子、水口聡、小川典子、小山実稚恵、近藤嘉宏、萩原麻未、三浦友里枝、三船優子、イリーナ・メジェーエワ、松山冴花、西江辰郎、川久保賜紀、松田理奈、渡辺玲子、伝田正秀、藤原真理、長谷川陽子、遠藤真理、赤坂達三、曾根麻矢子、吉野直子、福田進一、シエナ・ウィンド・オーケストラ 他 予定。

東京都文化発信プロジェクト

《概要》	主催： 東京都、東京都文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京歴史文化財団)、ミュージック・ウィークス・イン・トーキョー実行委員会
	制作： ジェスク音楽文化振興会
	日程： 2011年9月30日(金)～10月10日(月・祝)
	会場： 東京オペラシティ、新国立劇場 ほか
《事業内容》	演奏会

昨年より立ち上がった、東京都文化発信プロジェクト。イタリア人合唱指導者、ロベルト・ガッピアーニ氏(トリノ王立歌劇場～ローマ歌劇場)による、オーディションと集中的な指導を行う。そこでできた100人前後の合唱団と都響の組み合わせによるオーケストラ合唱曲で、東京都から発信。昨年はヴェルディ：レクイエムを他の主催で開催。新規事業をクラシック事業協会より委託される予定。

公益目的事業 3 講習会を企画制作する事業

第8回クールシュヴェール国際音楽アカデミーin かさま

- 《概要》 主催： クールシュヴェール国際音楽アカデミーin かさま実行委員会
企画制作： ジェスク音楽文化振興会
日程： 2012年3月（日程調整中）
会場： 茨城県教育研修センター ほか
- 《事業内容》 講習会など

フランスのリゾート地クールシュヴェールで毎夏開催される「クールシュヴェール夏季国際音楽アカデミー」の日本版として、2005年から茨城県の笠間市で開催。桐朋学園大学弦楽科主任教授辰巳明子音楽監督のもと、本国アカデミーの芸術監督を務めるドン・スーク・カン教授（ヴァイオリン）とパスカル・ドゥヴァイヨン教授（ピアノ）のほか、ザハール・ブロン教授（ヴァイオリン）も招聘。10歳から大学生まで幅広い年齢層の将来を担う逸材が多数参加。

第16回 浜松国際ピアノアカデミー

- 《概要》 主催： 浜松市、浜松市教育委員会、財団法人浜松市文化振興財団
企画・構成： ジェスク音楽文化振興会
日程： 2012年2月4日（土）～13日（月）（予定）
会場： 浜松市アクトシティ音楽院 ほか
- 《事業内容》 講習会と演奏会

2009年度（2010年3月）開催が浜松市の財政事情により1年休止され、今年度（2010）復活。引き続き、教授陣4名、受講生24名規模での開催予定。中村紘子音楽監督による、コンサートピアニストの育成を目的とした浜松ならではのアカデミーを展開。教授陣による公開レッスン、レクチャーコンサートシリーズ、受講生達が実際の国際コンクールの環境を実体験できるアカデミーコンクールなども行う。

芸術家への道

- 《概要》 主催： 鹿児島県
実施主体： 鹿児島県文化振興財団（みやまコンセール）

協 力 : ジェスク音楽文化振興会
日 程 : 2011年8月8日～11日
会 場 : みやまコンセール

《事業内容》 講習会

霧島国際音楽祭の受講生の国際化と水準が高まる中、音楽祭の主催の一つである鹿児島県よりの要望で鹿児島県の音楽文化の将来を担う人材育成のために実施する事業。講師は、霧島国際音楽祭の講師、松原勝也、練木繁夫が担当予定。

公益目的事業4 演奏家を育成し、活動を助成、マネジメントする事業

演奏家マネジメント事業

優れた演奏家の育成に努め、その活動を助成する目的により、当財団の趣旨に賛同する演奏のマネジメント業務を実施し、才能のある若手演奏家のため、リサイタルやオーケストラとの共演の場を設ける。

所属演奏家 (2011年3月23日現在)

ザハール・ブロン [ヴァイオリン]

* ケルン音楽大学 チューリッヒ音楽院教授

四方 恭子 [ヴァイオリン]

* 元ケルン放響第一コンミス、兵庫芸術文化センター管弦楽団コンミス、東京都交響楽団コンミス、霧島国際音楽祭招待アーティスト

田中 雅弘 [チェロ]

* 東京都交響楽団首席奏者、霧島国際音楽祭教授

横川 晴児 [クラリネット]

* NHK 交響楽団首席奏者

イリーナ・メジューエワ [ピアノ]

* ロシアのゴーリキー (現ニジニー・ノヴゴロド) 生まれ。日本在住。

協力アーティスト

弓 新 [ヴァイオリン]

* 16歳、クールシュヴェール in 笠間、霧島国際音楽祭にも受講生として参加。
ザハール・ブロン、辰巳明子両氏よりの要請でマネジメント協力。

パスカル・ドゥヴァイヨン&村田理夏子 [ピアノ・デュオ]

* 2011年11月に東京文化会館でリサイタル予定。ジェスクは制作部分を担当。

公益目的事業5 世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版する事業

世界的にすぐれた楽譜や文献を日本語版として出版、頒布する。現在の主な刊行物は下記の通り。

ショパン／パデレフスキ版

- I. プレリュード、II. エチュード、III. バラード、IV. 即興曲、V. スケルツォ、
VI. ソナタ、VII. ノクターン、VIII. ポロネーズ、IX. ワルツ、X. マズルカ、
XI. 幻想曲・子守歌・舟歌、XIII. 演奏会用アレグロ変奏曲、
XIV. ピアノ協奏曲、XVIII. 小品集

ドヴォルジャーク

- 「スラヴ舞曲集作品 46 (連弾)」、「スラヴ舞曲集作品 72 (連弾)」
「スラヴ舞曲集作品 46 (スコア)」、「スラヴ舞曲集作品 72 (スコア)」
「交響曲第 8 番作品 88」、「交響曲第 9 番作品 95」、「チェロ協奏曲作品 104」

ザハール・ブロン編集・解説

- 「エチュードの技法」
「ヴェータン：ヴァイオリン協奏曲 第 5 番」

子供のためのピアノ曲集・ねこシリーズ

- ガルシチャ「ピアノのための小品集」、「わたしと一緒に弾きましょう」
フンジャク「サーカス」
リビツキ「わたしは弾きはじめる」 他

ルー・ハリソン著 「ワールド・ミュージック入門」

☆当財団では、霧島国際音楽祭をはじめ、関わりのある音楽会、講習会にも引き続き積極的に楽譜を持ち込み会場販売を行う。